

学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



玄関前で
元気に咲く
人権の花

☆☆☆ 毎日 84名が 安全に登下校 ☆☆☆ 交通指導員さん、安全ボランティアさん、ありがとうございます

雨の日や風の日も、暑い日や寒い日も、毎日、交通指導員の小林タイ子さんや4名の見守り隊・2名の安全ボランティアの皆様が子供たちの登下校を見守ってくださっています。地域の皆様のおかげで、84名が安全に登下校できることに心から感謝いたします。見守り隊は、後藤誠一さん(上吉田)、宇田三雄さん(磯部)、小室佳子さん(本吉田)、大垣孝子さん(川島)です。安全ボランティアは、杉山つや子さん(上吉田)、海老原充雄さん(鯉沼)です。登録されている6名の皆様には、毎日お世話になっています。登録されていなくても、保護者の皆様やおじいちゃん、おばあちゃんによる見送りやお迎えにも、助けられています。

毎年4月には年1回の「安全ボランティア会議」を開き、子供たちの登下校の様子を伺うことで指導に役立てています。今年も「挨拶ができるようになってきた。」「1列できちんと歩いている。」などのお褒めの言葉をいただきました。一方、「県外の車がスピードを出して通学路を走り、危険。」「用水路や川の水が増えているので、川遊びは危険。」など、日頃からの子供たちの様子や危険な場所について話し合いました。



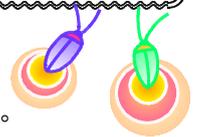
昨年もお願いましたが、登下校で気になることがあります。雨の日の保護者などによる送迎です。雨風がとても強い、歩くのが困難な日は別として、小雨の場合は基本的に歩いて登校させてください。(南河中学区努力点) 傘を上手に差して安全に注意しながら歩き、がんばることも、大切な体験となります。また、タオルや替えの靴下を準備することも、これからの生きる力に。お子様のより良い成長のために御協力をお願いします。



元気で充実した『夏休み』を

夏休み前の全校集会(7/20)で次のような話をする予定です。

1 夏休みに全員にやってほしい3つの約束



- ①本を3冊以上読む…長い夏休みにも家読の習慣化を→おすすめの本ベスト1を記録します。
- ②毎日手伝いをする…決めた仕事を毎日やることで責任感を→どんな仕事をしたのか記録します。
- ③1つ以上料理を作る…家族と一緒に、または一人で、家族のために料理に挑戦を
→どんな料理を作ったのか記録します。

2 「嫌いなことをやれと言われてやれる能力は、後で必ず生きてくる」イチロー選手

「嫌いだからやらない」と言って好きなことしかやらなかったら、嫌いなことはずっと嫌いなままです。難しく嫌なことになると、「こんなの無理」と言ってしまいがちです。でも、その「嫌いなこと」は、もしかするととても役に立つおもしろいことかもしれません。だから、そういうときこそ、「簡単!」「やってみよう!」「楽しい!」と声を出して、言ってみましょう。すると、心のハードルが下がって、頭の脳がよく動き始めるそうです。自分自身を磨き、力を伸ばしていくには、嫌いなことでもがんばって努力を続けることが大切なです。楽しく充実した夏休みにするために、嫌いなことや苦手なことにも挑戦してみてください。

夢や目標を実現するには、一つしか方法がない。

小さなことを積み重ねること。(イチロー選手)

学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



東門に咲く
めずらしい
アオギリ

毎日暑い日が続く、子供たちは朝歩いて学校に来るだけで汗びっしょり。それでも毎朝元気に挨拶して登校する子供たちに、元気ももらっています。6月から、自学の時間に「音読テスト」を週に1回位置づけました。音読は「読む力」の基本となります。特に、4月に入学した1年生の成長には目を見張るものがあります。平仮名を全部覚え、すらすらと音読できるようになりました。もちろん、2～6年生も教科書の文章をそれぞれのめあてに沿って、音読できます。家でも、毎日お子さんの音読の音が響いて、ともに音読の楽しさを味わっていただけることを願っています。



6/28(水)第1回学習相談を行いました。年間5日間、実施予定です。個人の希望や保護者のお迎えなどがありますが、28日は47名の参加でした。基礎基本の習得に取り組みました。担任の他に無担の教員も指導に入り、個に応じた指導をしています。夏休みも行います。ぜひ参加を!

7/5(水)の朝は「登校指導」と「ごみゼロ運動」でした。毎月第1水曜日に行っています。各地区に担当教員が分かれて、登校の様子を見たり、安全の確認をしています。子供たちは手は泥だらけにしながら、道路のごみを拾います。ごみゼロ運動は南河中学区4校の取組で、それぞれの学校で実践しています。地域をきれいにすることで、ふるさとを大切に愛する心を育てています。



6/21(水)南河中学区4校合同避難訓練・児童引き渡し訓練を行いました。竜巻の発生という想定で、まずは安全な場所への避難練習。窓ガラスのないトイレや階段下などへ、防災頭巾を被って避難しました。その後、一斉メールの配信で保護者への引き渡し訓練。大雨の悪天候でしたが、混乱もなく全員無事帰宅できました。大変お世話になりました。



清掃の時間、「無言清掃」に取り組んでいます。放送の合図で「お願いします。」の挨拶をし、その後は一人一人の分担を時間いっぱい黙って清掃します。「無言清掃」には3つの意味が含まれています。
①我慢して最後まで仕事する集中力
②仕事を見つけて働く気付き
③相手を思いやって働く親切心



☆☆☆ 地域や専門の方々に学ぶ体験学習 ☆☆☆

子供たちに体験活動の機会を確保し充実を図るために、各学年では様々な活動を計画的に実施してきました。地域の方々との交流、自然体験活動、社会科見学などを通して、興味関心を高め、学習の課題解決や実感を伴う理解などにつながっています。「百聞は一見に如かず」子供たちの目はきらきらと輝き、本物に触れる・感じる・コミュニケーションする喜びにあふれています。そして、社会性や郷土愛を育む心が育っていくものと期待しています。全学年の7月までの取組を御紹介します。

- 1年生…7/3学級活動「野菜大好き」渡邊栄養教諭、7/11生活科「夏の公園で遊ぼう」大松山公園
- 2年生…5/24・31生活科「町探検」、7/12学級活動「命のお話」えがおのたまご
- 3年生…4/28音楽「リコーダー講習会」東京リコーダー協会、5/19社会「南河内地区施設めぐり」
- 4年生…5/23社会「清掃工場」、6/20社会「水道局、浄化センター」
6/27総合「福祉・介護のお仕事」(4～6年) 7/18社会「石橋消防署」「下野警察署」
- 5年生…6/8学級活動「携帯電話講習会」ロジカルキット、6/28社会「消費者教育」市生活安全課
- 6年生…6/1社会「薬師寺歴史館」「風土記の丘資料館」、6/8学級活動「携帯電話講習会」ロジカルキット



月に1回『読み語りの日』が楽しみ



6/15(木)読み聞かせボランティア『らこんて』による2回目の読み語りがありました。メンバーは、内田雅智さん(1年担当)、岡部章子さん(2年)、館野法子さん(3年)、森田照江さん(4年)、松本有幸さん(5年)、久野千鶴子さん(6年)の6名です。今年も9月と1月に担当学年が替わるそうです。

子供たちはこの日をとても楽しみにしています。ボランティアの方もどのような本を読んだらよいか、担当者同士で相談しながら本を選んでいるそうです。本の世界に浸り、想像力を働かせながら聴き入る時間は、心豊かで生きる力を育む時間となっています。

なお、今回読んでくださった本は、1年生が「かいじゅうたちのいるところ」と「まじよになったら」、2年生が「たなばたものがたり」と「びくびくピクー」、3年生が「365まいにちペンギン」、4年生が「じごくのラーメンや」、5年生が「おおおかさばき」、6年生が「かえるの竹取ものがたり」でした。

6/12~14に5年生が「臨海自然教室」で、「とちぎ海浜自然の家」に行ってきました。「館内ウォークラリー」、「ナイトハイク」、「ニュースポーツ」「塩づくり」「カレーづくり」など、普段できない学習や経験をすることができました。海や広い自然を満喫し、「自立心」や「公共心」を養うことができたようです。



6/15(木)市の人権擁護委員さんから「人権の花」をいただきました。協力して花を育てることで、「思いやりの心」や「命の尊さ」学び、人権への理解を深めることが目的です。児童代表で、美化委員長 海老原耶々さんがお礼の言葉を述べました。いただいたお花を「人権の花壇」で大切に育てていきます。



外国語指導助手(ALT)のレニ先生の外に、日本人英語指導助手(JTE)の石原由貴先生も、英語の授業を担当とともに進めてくださっています。1~4年生の担当で、年間10日間の勤務です。子供たちが楽しく外国語を学べるように、歌やダンス、ゲームなどを工夫して取り入れています。(1年間に、1、2年生は10時間、3、4年生は20時間、5、6年生は35時間の外国語学習があります。)



ユースサポーターの大足昂生さん、直井彩花さん(白鷗大学3年生)が、6月から2~4年生の学習支援に入っています。(大足さんは金曜日午前、直井さんは木・金曜日午前)2人とも前期のみですが、子供たちに寄り添って、やさしく声をかけて支援しています。休み時間も子供たちと一緒に遊んでくれて、人気者です。



『特別支援教育』って? No3 「自己肯定感・自尊感情を育てる」

学校では、子どもたちの自己肯定感・自尊感情を育てることを大切にしています。自己肯定感・自尊感情とは、あるがままの自分をかけがえのないものとし、自分が大切だと思えることです。自己肯定感・自尊感情を育てることは、自分に自信を持ち、前向きに生きる態度につながると考えられています。

他人の気持ちや場の状況を読むことが難しい児童には、その子の理解したことや感じたことを聴いて認めながら、人の気持ちや正しい振る舞いについて教えていく・苦手さに目を向けるのではなく、得意なことを伸ばせるよう働きかける・苦手なことにもステップを小さくして取り組めるようにしたり別のやり方を考えてみたりする、などを行っています。このように、一人一人の違いを認め、すべての子どもたちが、その子らしい力を伸ばして成長していけるよう支援を行っています。

お知らせ:「吉田東小 学校だより」はホームページでカラー版を御覧いただけます。

学校行事や各学年の活動も随時配信しています。御意見、御感想など御連絡ください。

吉田東小 住所:下野市中川島7 電話番号:0285-48-5007

吉田東小 ホームページ アドレス: <http://school.shimotsuke.ed.jp>

※QRコードからアクセス



7/12(水) 2年生が「命のお話」の授業を行いました。市の看護師や助産師、保健師の市民団体「えがおのたまご」の皆様により、人形劇や紙芝居、産道体験などを通して、命の大切さや自分を大切にすることについて学びました。授業参観でもありましたので、親子で命について考え、誕生したときの感激や温かさを感じることができたと思います。

7/3日(月) 1年生が、栄養教諭の渡邊千咲先生と、野菜に関する食育の授業を行いました。アンケートをもとに好きな野菜や嫌いな野菜を発表し、今日の給食に使われている野菜について学びました。そして、野菜の役割や大切さなどの話を聞きました。苦手なピーマンも、これからは少しがんばれそうです。

7/7(金)は七夕でした。子供たちは、稲見勇さんの家からいただいてきた笹竹に、願い事を書いた短冊や、折り紙などで作った飾りを竹に取り付けました。ホールに飾られた笹竹は、立派でした。みんなの願いがいつの日か叶いますように。